

## 会長挨拶

会長 影島山弘

皆様、こんにちは。先週7月10日に地区ロータリー財団セミナーが開催され、大塩ロータリー財団委員長と共にZOOMで受講をいたしました。詳しい報告は、後日大塩委員長よりあると思いますので、私は、ロータリー財団の歴史を少しお話をさせていただきます。

ロータリー財団の始まりは、1917年6月18日アトランタで開催された第8回ロータリー年次大会で、当時の会長のアーチ・C・クランプが「世界でよいことをするために基金を作るのが、きわめて適切だと思われる。」と演説したことが始まりだそうです。

この基金への最初の寄付は、1917年にカンザスシティRCがおこなった26ドル50セントだそうです。この26ドル50セントが、世界をよりよくするための何十億ドルと言う財団の布石をしいたわけです。

その後1928年に「アーチ・クランプ基金」という名前から「ロータリー財団」と正式に命名されました。補足ですが「ロータリー財団」の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。その協力財団が、日本、オーストラリア、ブラジル、カナダ、ドイツ、インド、英国に設けられており、日本のロータリー財団の正式名称は、公益財団法人ロータリー日本財団です。

アーチ・クランプは、初代の「ロータリー財団」の管理委員長に就任し、長期的な視野を持ち、ロータリー財団に反対する勢力から財団を守り、存続と発展のために生涯をささげ、1951年6月3日、82歳で生涯を閉じました。

1947年に、ロータリーの生みの親であるポール・ハリスが逝去した際、逝去後「追悼は献花ではなく財団への寄付を」というハリスの意思が電報でロータリアンに伝えられ、ハリスを追悼する寄付100万ドル以上が財団へ寄せられたそうです。

まだまだ、お話したいことはたくさんありますが、最後に一言、「世界でよいことをする」ためにはお金が必要だということです。ロータリー財団は、世界中のロータリアンからの寄付によって、世界中のまだ手を差し伸べていかなければならない人の元へたくさんの手を差し伸べていこうとしています。我々沼津北ロータリークラブも微力ではありますが、歴史ある「ロータリー財団」への協力をしていこうではありませんか。

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- I. 真 実 か ど う か
- II. み ん な に 公 平 か
- III. 好 意 と 友 情 を 深 め る か
- IV. み ん な の た め に な る か ど う か



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度 国際ロータリー会長

シェカール・メータ氏 テーマ

奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために



R1第2620地区 静岡第2グループ

沼津北 ロータリークラブ

テーマ

「奉仕しよう ロータリーを地域に広げるために」

WEEKLY  
BULLETIN NO. 2<http://NNRC.e47.jp/>

会長 影島 山弘 幹事 土屋 雄二郎

事務所 〒410-0801 沼津市大手町1-2-1  
フォーラム壹番館3F  
TEL.055-963-1960 FAX.055-963-1970  
E-mail:numazu-n-rc@coffee.ocn.ne.jp

例会場 〒410-0802 沼津市上土町100-1  
沼津リバーサイドホテル  
TEL.055-952-2411 FAX.055-952-2455

例会日時 毎週火曜日 12:30～13:30

## プログラム

7月27日 通常例会(ガバナー補佐期首訪問)、理事会  
8月 3日 クラブ協議会  
8月10日 祝日週休会  
8月17日 振替休会

## クラブ会報委員会

委員長 鈴木 勝一  
副委員長 植松 恒裕 一杉 泰博  
委員 小笹 皓平  
本号担当 植松 恒裕